

序章

～物質世界から

精神（意識）世界へ～

第一章

～氣とは、人間と自然界にある

すべての法則である～

〈無極大元素大御神なむごくおほもとすのおおみかみ＝創造主〉とは

「氣」とは

「氣」を整える

修練法

第二章

すべての物質は〈波動〉と 呼ばれる宇宙のエネルギーで 存在している

客観的意識

下意識

波動

振動

物質の構成

物質の振動

振動の知覚と解釈

物質世界

「氣」の世界

第三章 人の成り立ち

人の構成

プラーナ

魂

脳

脳の三つの機能

直感

言霊ことだま

感性

集中

波動（氣）の影響

人として

第四章 道はここから始まる

欲望

所有の観念

すべての事象は因果律いんがうりつによって成り立つ

因果律と悟り

気づくという学びへへ悟り

魂は一つであり、波動の違いにより表現を変える

気綱きづな

果たすべき役割

日本人としての誇り

道はここから始まる

惟神

（授かりし気づきの御心）

あとかき

197

おみくじ

187